

東京国立博物館 特別展「和様の書」 国宝「平家納経」 展示に有機EL照明パネルを採用

Lumiotec (ルミオテック) 株式会社 (社長: 近藤 勝、本社: 山形県米沢市) で製造した有機EL 照明パネル(P07シリーズ)が、東京国立博物館 (東京都台東区) が開催する特別展「和様の書」(注1)に展示される国宝「平家納経」(巖島神社蔵 注2)の展示に採用される事が決定した。

LumiotecのP07シリーズを展示照明に用いると、その高い色再現性により、様々な光彩を鮮麗に見せる一方、面から照射される均一でムラのない柔らかい光により照明の映り込みが少なく、落ち着いた展示空間を創りだす。また、紫外線・赤外線が発生がなく、光源自体の発熱が均一で温度上昇も極小である。

展示ケースは、株式会社マルモ(神奈川県平塚市)による幅5mの特別展専用のケースで、市販の照明用有機ELでは世界最大の面積となるP07C (287mm×97mm) (注3)を13枚並べることにより、展示物をムラのない柔らかい光で照らし出す。

更に、展示ケースの中央下部にはP07Cが5枚と鏡が設置されており、透明な台上に展示された「平家納経」の裏側を同時に見られる工夫が凝らされており、「平家納経」の美しさを賞玩することが出来る。

**有機EL照明の導入によるメリット**

- ・ 展示物の繊細な色を忠実に再現する
- ・ 展示物への照明の映り込みが少ない
- ・ 展示物が繊維や紙などの場合、展示物の損傷(退色・変質など)が従来光源に比べ少なく抑えられる(注4)
(紫外線を含まず、さらに可視光の中に含まれる「損傷を与える波長成分」も少ないため)
- ・ 展示物の熱・温度変化による影響が、従来光源に比べ少なく抑えられる
(赤外線を含まず放射熱がないこと、さらに光源自体の温度上昇も極小であるため)
- ・ 柔らかい光なので、視界に入っても気にならず、床部でも使用できる
- ・ 極薄でスペースを取らず、また軽量であるため、既存の展示ケースの光源の置き換えも簡単にできる

(注1)特別展「和様の書」東京国立博物館 平成館にて平成25年7月13日(土)より9月8日(日)まで開催

(休館日、7/15,8/12を除く月曜日、7/16)、ホームページURL (<http://wayo2013.jp/>)

(注2) 平清盛(1118~81)が平家の繁栄を願って発願し、巖島神社に奉納した装飾経。

(注3) Lumiotec調べ

(注4) 米国商務省標準局の損傷係数で比較。損傷係数は、色紙の変退色の程度を数値化したもので、この値が小さい光源ほど展示物への影響が少なくなる。市販されている美術館・博物館用蛍光灯(昼白色)の損傷係数0.012に対し、P07シリーズの係数は0.008(Lumiotec調べ)。

以上

【広報窓口】 Lumiotec株式会社

業務部 TEL : 0238-29-0725

E-mail : lumiotec_info@lumiotec.com

【営業窓口】 三菱重工業株式会社 機械・鉄構事業本部

新事業プロジェクト室 Lumiotecチーム TEL : 03-6716-3789

(2013年4月1日より、Lumiotec株式会社の営業窓口は、三菱重工業株式会社に委託しております。E-mailは引き続きlumiotec_infoをご利用下さい。)